



梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまいます。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかり拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもとう、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいくか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていきますから、手がかかるのに、手がかけられない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育てでは昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めっちゃうちに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがまを言っているのは片目くらいづりますが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

## <年中組今月の目標>

健康・・・自ら水分補給をする  
人間関係・・・自分の考えをみんなの前で発表をする  
環境・・・自分の持ち物やロッカーを整理する  
言葉・・・文章で話す  
造形・・・絵手紙、得点うさぎ、描画  
音楽・・・「おへそ」「おばけなんてないさ」  
「魔法の呪文」

## <担任から今月のメッセージ>

先日の家族参観日では、沢山盛り上げていただきありがとうございました。

子ども達はプレゼント製作をした日から、「早く渡したい!」「あと何日で来る?」と本当に楽しみにしていて、帽子を作ったことも、歌も、メッセージも、お家の人にはまだ内緒だよ!と話していたのですが、「先生!ママにだけ言っちゃった!」や「お家で歌うたっちゃった!」と楽しみな気持ちを隠しきれない子どもたくさんいたようでした。

製作では、いつもはピンクが大好きな女の子も「パパは緑が好きだから!」と洋服の色を選んだり、製作があまり得意で無い子も「パパとママ、喜んでくれるかな?」と張り切って作ったり、子ども達の家族を想う気持ちもたくさん見ることが出来ました。

また、歌のプレゼント、「時計よ眠れ」の歌は、とても難しく中々覚えることが出来なかったのですが、参観に向けてカウントダウンをすると、お家の人に綺麗な声を聞かせてあげたい!と、私がピアノの椅子に座れば「時計の歌弾いて!」と、子ども達も意気込んでいました。

直前に私の声が出なくなってしまう為、「先生、一緒に歌えないけど大丈夫かな?」と聞くと、「大丈夫!」と頼もしく答えてくれ、間違いやすい歌詞を友達同士で教え合う姿も見せてくれて、前日には全員が心を一つに素敵な歌声を聞かせてくれて、思わず私も目頭が熱くなりました。

当日も素敵な歌声が響き、子ども達の気持ちは届いたのでは無いでしょうか。涙を拭きながら聞いてくださる方もいて、私も心の底から温かい気持ちになれた1日でした。本当にありがとうございました。

家族参観日が終わり、次はぬたくりですね。

先日の砂場遊びでは、最初は汚れるの嫌だと言っていた子も気がつくと全員泥まみれになっていて、時間になり、順番に身体を洗うために「先に終わりにしたい人ー?」と尋ねると、誰も手が上がら無いほど満喫してくれました。

ぬたくりも、きっと絵の具まみれになって楽しんでくれるのではないかと期待しています。どんなみんなが見られるのか今から楽しみです!お母様方も、写真や絵の具だらけのスモックを楽しみにして下さいね。私も子どもたちに負けずに、楽しめます!

※お持ち帰り頂いた朝顔ですが、「摘心」をすると、よりつるが伸び葉も増えやすくなるそうです。詳しくはGoogle先生を頼ってみてください。

長谷川 裕子

